



臨床腫瘍セミナー

～ 集学的チーム医療を考える ～

日時：平成22年7月20日(火) 18時～19時

場所：福島県立医科大学 第二臨床講義室

演題：「杏林がんセンターの働き

～がんサポートとレジメン評価委員会を中心に～」

講師：杏林大学医学部付属病院 薬剤部
がん専門薬剤師 野村 久祥 先生

【講師紹介】

東京都出身。1998年東京薬科大学卒。杏林大学医学部付属病院入職。ルーチン業務を行いながらがん治療の勉強に興味を持ち、2005年外来化学療法室専任薬剤師となる。2007年日本病院薬剤師会認定、がん薬物療法認定薬剤師、翌年同会がん専門薬剤師。2009年3月慶応義塾大学大学院薬学研究科修了。2010年1月日本医療薬学会認定、がん指導薬剤師。同年3月同会がん専門薬剤師に認定される。

「がんは、わが国の死亡率第一の疾患であり、がん治療は横断的・集学的にチーム医療を行うべきだとされています。各施設では、横断的・集学的チーム医療の1つとしてがんサポートが行われています。当院でのがんサポートは、複雑な症例に対して、各領域のリーダー的存在が集まり治療方針を決定しています。また、がんサポートとは別組織として、治療レジメンを登録するためのレジメン評価委員会があります。当院でのがんサポートとレジメン評価委員会の活動を事例を交えて報告します。」

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。

〈問い合わせ先〉

福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター
がんプロフェッショナル養成支援室
TEL：547-1410（内2661）
mail：mk3765@fmu.ac.jp



〈次回のお知らせ〉

日時：平成22年8月17日(火) 18時～19時
講師：千葉県がんセンター地域医療連携室 丹内 智美先生
内容：「がん地域連携クリティカルパス
～千葉県がんセンターの取り組み～」